

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

Table with 4 columns: 団体名, 代表者名, 担当者部署, 連絡先電話番号, 担当者役職, 担当者氏名, 仲野 善博, 連絡先E-mail, 住所

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

Table with 2 columns: アドバイザー, 米田 宗義; 評価, よい; 上記評価の理由, 各町村の課題となっている点を理解して頂いたうえで、自治体DXに対して知識が乏しい、または、現状を知らない職員に向けてわかりやすく、意識改革や全課で推進に取り組む事の必要性、オンライン申請の進め方などを話して頂いた。...

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

Table with 6 columns: 活動, 派遣日, 開始時刻, 終了時刻, 内休憩時間(分), 活動時間(分); 3-1. 活動, 2022年2月3日, 9時30分, 15時00分, 75, 255; 3-2. 派遣場所, 会場名, 千早赤阪村役場, 最寄駅, 近鉄上ノ太子駅; 所在地, 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分180番地, 最寄駅からの交通手段; 派遣形態, 講演(オンライン)

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

Table with 2 columns: 掲載許可, O掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

Table with 2 columns: 5-1. 支援を受けた対象者, 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 人数 職員(課長級以上職員・担当職員) 30人; 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果; 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 各町村とも小規模団体であることから、これまでは情報化施策担当部署が中心となって対応している。住民の利便性の向上や業務の見直しにおいては、担当課自身が主体的に取組む必要があり、管理職も含めた全職員の意識向上が必要となっている。; 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) 情報化施策担当課まかせではなく、各課において主体的に行動できるよう意識改革と、オンライン申請が推進されるなど今のタイミングを逃すことなく、デジタルだけではなくDXの推進を図るための理解を深める。; アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) 自治体DXの入門講座として、自治体システムの標準化・共通化と行政手続オンライン化に関して、他自治体や民間企業の事例を交えながら、午前中は管理職員、午後は非管理職員に分けて、オンライン形式により講演していただいた。研修のポイントとして、①職員の意識向上を図る、②オンライン申請の必要性や進め方の助言、③今後のスケジュール、④他団体の事例を踏まえ研修を行ってもらった。; 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) 管理職も含めた研修受講職員の自治体DXについて意識向上が図れた。; 具体的な成果物 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 研修・講演のため、具体的な成果物はなし。

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修のおかげで職員の意識向上は一定図れた。今後、庁内業務の効率化や住民サービスの向上のために自治体DXを活用・推進するには取り組むべき事が多くある。 ・組織体制、人材育成、意識醸成 ・業務の見直し ・自治体DX推進計画等の策定 など	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙アンケート結果のとおり。自治体DXを「知らなかった」「言葉は聞いたことがある」13人中、理解が「進んだ」7人となった。また自由記述として提案等もなされた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	住民の利便性の向上及び業務の効率化等のために、自治体DXの活用や業務見直しをするという意識醸成。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

